学校番号	２１３

平成 31 年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「ＭＯＵＳＡ」　（教育芸術社）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・歌唱では斉唱、混声合唱に取り組みます。
・器楽ではギター、リコーダーの実技実習を中心に取り組みます。
　ギターでは基本的な音階や簡単な楽曲が数曲演奏できるよう課題に取り組みます。
　リコーダーはアルトリコーダーによる、独奏、アンサンブルの課題に取り組みます。
・評価にあたっては課題への取組み状況、出席状況、ワークシート等の記入内容等も重視します。
　また、実技課題については音楽経験の有無に左右されないよう、形成的評価（現在のレベルから努力して上達した部分を評価する）で評価します。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:音楽への関心・意欲・態度	b:音楽表現の創意工夫	c:音楽表現の技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心を持ち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に取り組もうとする。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	・授業態度 ・学習の取り組み状況（観察・聴取） ・ワークシート、レポート等、学習プリントの作成状況	・学習の取り組み状況（観察・聴取） ・ワークシートの記入内容 ・実技課題	・学習の取り組み状況 ・実技課題	・ワークシート、レポート等の記入内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1	高校音楽スタート！	歌うことの楽しさを感じ取る 呼吸法，口形，共鳴など発声の基本を学習する ・校歌 ・愛唱歌　など	○	○	○		a:校歌や愛唱歌の歌唱活動に関心を持ち、意欲的に歌唱にとりくもうとしている b:音程、リズム、テンポ、表情等を把握し、しっかりとした発声で、より楽しく歌唱する表現の工夫をしている。 c:しっかりとした発声と、楽譜に書かれた情報を把握し表現する技能を身に付けている。	観察 聴取 実技テスト
	リズムを感じて ～クラッピングアンサンブル～	音楽を形作っている要素を知覚し、それらが生み出す雰囲気を感受しながら表現意図を持って演奏する。 ・クラッピングアンサンブル「クラッピングカルテットＮｏ１」	○	○	○		a:手拍子の音色や奏法に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら表現意図をもって演奏する工夫をしている。 c:曲想をイメージをもって表現するために必要な技能を身に付けている。 ・手拍子の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。	観察 聴取 ワークシート 実技テスト
	世界の諸民族の音楽	世界の民謡、郷土の音楽の旋律や、声、楽器の音色の特徴、それらの楽曲の文化的・歴史的背景に関心を持ち、音楽に対する理解を深める。	○		○		a:世界の音楽における声、楽器の音色の特徴や表現上の効果、その文化的・歴史的背景に関心を持ち、鑑賞することに主体的に取り組んでいる。 c:音楽を形作っている要素を知覚し、それらの働きが生み出す得膣や雰囲気を感受しながら、世界の歌、楽器の音色の特徴や表現上の効果とのかかわりを感じ取って、その文化的・歴史的背景を踏まえて音楽の価値を考え、よさや美しさを主体的に味わい、聴いている。	観察 ワークシート

2	ギターに挑戦 ～基礎からはじめるギター～	ギターの音色や奏法に関心をもち，それらを生かして演奏する ・基本の音階 ・よろこびの歌 ・ちょうちょう ・テンリトルインディアン ・エーデルワイス	○		○		a:ギターの音色や奏法に関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 c:楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。	観察 課題テスト 課題進捗スタンプカード
	日本歌曲 ～歌詞と表現～	歌曲がもつ曲想を歌詞の内容や楽曲の背景などとかかわらせて、イメージをもって歌い、表現を工夫する。 ・椰子の実	○	○	○	○	a:曲想と歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりに関心をもち、イメージをもって歌唱したり、鑑賞しようとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、音楽表現を工夫している。 c:曲想をイメージをもって表現するために必要な発声を含めた技能を身に付けている。 d:音楽を形づくっている要素が生み出す特質や雰囲気が、歌詞の内容や楽曲の背景とのかかわりを感じ取り、作曲者及び演奏者による表現の特徴を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりしながら創造的に味わっている。	観察 実技テスト ワークシート

	第九を聴こう	楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、楽曲の文化的･歴史的背景を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深める。 ・ベートーヴェン交響曲第９番	○			○	a:楽曲の文化的･歴史的な背景や、合唱を含む交響曲の音色や表現上の効果に関心をもって、主体的に鑑賞しようとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感受しながら、楽曲の文化的･歴史的背景を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深めている。	観察 ワークシート
3	我が国の音楽	我が国の伝統的音楽の声や楽器の音色の特徴や、楽曲の文化的･歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞する ・日本の楽器 ・様々なジャンルで活躍する日本の楽器	○			○	a:我が国の伝統的音楽の声や楽器の音色の特徴や、楽曲の文化的･歴史的背景に関心をもち主体的に鑑賞しようとしている。 d:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じ取り、わが国や郷土の音楽の特徴を理解し、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして音楽に対する理解を深めている。	観察 ワークシート
	合唱 ～ハーモニーを感じて～	合唱活動に興味をもち、歌詞の内容や曲想を生かして、声部の役割を理解し、全体の響きに調和させて表現を工夫して合唱をする ・混声３部合唱「メッセージ」	○	○	○		a:合唱が持つ、よさやもち味に関心をもちながら歌う学習に、主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気などを感受しながら、曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、音楽表現を工夫している。 c:曲想を歌詞の内容や楽曲の背景とかかわらせて感じ取り、イメージをもって音楽表現するために必要な発声、発語、読譜等の技能を身に付け、創造的に表現している。	観察 実技テスト 振り返りシート

	リコーダーアンサンブル	リコーダーの楽器の音色や奏法の特徴をいかし、曲想にあった音楽表現を工夫し、イメージをもって演奏する。 声部の役割を理解し、楽器の音色や特徴を生かしながら合奏する。 ・もろびとこぞりて ・よろこびのうた ・グリーンスリーブス	○	○	○		a:楽器の音色や奏法および、それらの組み合わせの面白さに関心をもち、それらを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 b:音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きが生み出す雰囲気を感受しながら表現意図をもって演奏する工夫をしている。 c:楽器の音色や奏法の特徴を生かした音楽表現をするための技能を身に付けている。	観察 実技テスト 振り返りシート

※　表中の観点について　a:音楽への関心・意欲・態度　b:音楽表現の創意工夫
c:音楽表現の技能　d:鑑賞の能力

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。